

裁判官会議議事録 (第275回)

大阪高等裁判所

日 時	平成26年12月19日 (金) 午後4時00分	
場 所	大阪高等裁判所大会議室	
出 欠 状 況	大阪高等裁判所長官 大 谷 直 人	
	構成員等の出欠状況は別紙のとおり	
	大阪高等裁判所事務局長	北 川 清
	大阪高等裁判所事務局長次長	巽 信 裕
	大阪高等裁判所事務局総務課課長補佐	植 田 昌 典
議事の概要	1 開会宣言 2 付議事項等及び結果 次に記載のとおり 3 閉会	
<p>平成26年12月19日</p> <p>議事録作成者 植 田 昌 典 (植田)</p> <p>議 長 大 谷 直 人 (大谷)</p>		

付 議 事 項 等	結 果
<p>1 承認事項</p> <p>(1) 裁判官の配置の改定について 資料1のとおり</p> <p>(2) 大阪高等裁判所判事の職務代行について 資料2のとおり</p> <p>(3) 平成26年度の事務分配等の定め第2条第15項による事件の配付替えについて 資料3のとおり</p> <p>(4) 司法行政に関する情報の不開示に対する苦情申出への措置について 資料4のとおり</p>	<p>異議なく了承</p> <p>異議なく了承</p> <p>異議なく了承</p> <p>異議なく了承</p>
<p>2 付議事項</p> <p>平成27年度の裁判官の配置，事務分配，開廷日割及び代理順序の定めについて 資料5のとおり</p>	<p>原案のとおり決定</p>
<p>3 報告事項</p> <p>(1) 大阪高等裁判所管内の地方・家庭・簡易裁判所裁判官の職務代行について 資料6のとおり</p> <p>(2) 平成26年度各種委員会委員等の補充等について 資料7のとおり</p> <p>(3) 平成27年度各種委員会委員等の指名について 資料8のとおり</p> <p>(4) 一般職員の人事について</p> <p>(5) 平成26年度の事務分配等の定め第2条第6項後段による事件の配付替えについて</p>	<p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p>

(別紙)

## 裁判官会議出欠表

所 属	氏 名	会議出欠	備考
長 官	大 谷 直 人	○	
民事1部	志 田 博 文	○	
民事1部	下 野 恭 裕	○	
民事1部	井 田 宏	○	
民事1部	土 井 文 美	○	
民事2部	田 中 敦	○	
民事2部	善 元 貞 彦	○	
民事2部	太 田 敬 司	○	
民事2部	竹 添 明 夫	○	
民事3部	江 口 とし子	○	
民事3部	久保田 浩 史	○	
民事3部	和久田 道 雄	○	
民事3部	新 谷 祐 子	○	
民事4部	田 川 直 之	○	
民事4部	浅 井 隆 彦	○	
民事4部	島 村 雅 之	○	
民事4部	西 岡 繁 靖	○	
民事5部	中 村 哲	○	
民事5部	和久田 齐	○	
民事5部	山 田 健 男	○	
民事5部	堀 部 亮 一	○	
民事6部	水 上 敏	○	
民事6部	内 山 梨枝子	○	
民事6部	平 野 剛 史	○	
民事6部	山 田 兼 司	○	
民事7部	矢 延 正 平	○	
民事7部	菊 池 徹	○	
民事7部	村 田 龍 平	○	
民事7部	島 岡 大 雄	○	
民事8部	山 田 知 司	○	
民事8部	本 多 久美子	○	
民事8部	高 松 宏 之	○	
民事8部	寺 本 佳 子	○	
民事9部	金 子 順 一	○	
民事9部	田 中 義 則	○	
民事9部	上 田 卓 哉	○	
民事9部	渡 辺 真 理	○	
民事10部	角 隆 博	○	
民事10部	横 山 光 雄	○	
民事10部	坂 倉 充 信	○	
民事10部	横 溝 邦 彦	○	
民事10部	中 川 正 充	○	

所 属	氏 名	会議出欠	備考
民事11部	林 圭 介	○	
民事11部	杉 江 佳 治	○	
民事11部	吉 川 慎 一	○	
民事11部	久 末 裕 子	○	
民事12部	森 宏 司	○	
民事12部	一 谷 好 文	○	
民事12部	河 田 充 規	○	
民事12部	秋 本 昌 彦	○	
民事13部	石 井 寛 明	○	
民事13部	橋 本 都 月	○	
民事13部	小 堀 悟	○	
民事13部	栩 木 純 一	○	
民事14部	森 義 之	○	
民事14部	井 上 一 成	○	
民事14部	金 地 香 枝	○	
刑事1部	的 場 純 男	○	
刑事1部	細 井 正 弘	○	
刑事1部	橋 本 一	○	
刑事1部	山 口 敦 士	○	
刑事1部	沖 敦 子	○	
刑事2部	横 田 信 之	○	
刑事2部	野 路 正 典	○	
刑事2部	坂 田 正 史	○	
刑事2部	向 井 亜紀子	○	
刑事3部	中 谷 雄 二 郎	○	
刑事3部	柴 山 智	○	
刑事3部	高 島 由美子	○	
刑事4部	米 山 正 明	○	
刑事4部	中 川 綾 子	○	
刑事4部	佐 藤 建	○	
刑事4部	船 戸 宏 之	○	
刑事5部	並 木 正 男	○	
刑事5部	大 崎 良 信	○	
刑事5部	坂 本 好 司	○	
刑事5部	太 田 寅 彦	○	
刑事6部	笹 野 明 義	○	
刑事6部	飯 島 健 太 郎	○	
刑事6部	田 中 幸 大	○	
刑事6部	後 藤 有 己	○	
計		81	

事務局長	北 川 清	○	
------	-------	---	--

## 裁判官の配置の改定について

常任委員会 諮問日	実施年月日	部	変更事由	裁 判 官		備 考
26. 4. 28	26. 5. 22	4民	転出	判事(部)	小 佐 田 潔	
			転入	判事(部)	田 川 直 之	
	26. 6. 4	14民	依願退官	判事(部)	田 中 澄 夫	
			転入	判事(部)	森 義 之	
	26. 6. 6	1民	依願退官	判事(部)	小 島 浩	
			転入	判事(部)	志 田 博 文	
	26. 6. 6	2刑	転出	判事	和 田 真	
	26. 7. 2	3刑	転出	判事	五 十 嵐 常 之	
26. 6. 5	26. 7. 2	特別部	転出	判事	五 十 嵐 常 之	
			兼務	判事	岩 倉 広 修	
26. 7. 3	26. 7. 31	2刑	転出	判事	森 岡 孝 介	
			配置換(入)	判事	野 路 正 典	
		4刑	配置換(出)			
26. 7. 8	26. 7. 12	特別部	定年退官	長官	永 井 敏 雄	
	26. 7. 18		転入	長官	大 谷 直 人	
	26. 8. 1	5民	転出	判事	天 野 智 子	
	26. 8. 1	7民	転出	判事	河 合 裕 行	
26. 7. 17	26. 8. 15	5刑	定年退官	判事(部)	上 垣 猛	
	26. 8. 16		転入	判事(部)	並 木 正 男	
	26. 8. 17	5民	定年退官	判事(部)	坂 本 倫 城	
	26. 8. 18		転入	判事(部)	中 村 哲	

常任委員会 諮問日	実施年月日	部	変更事由	裁 判 官		備 考
26. 7. 17	26. 8. 18	7民	転出	判事	西 井 和 徒	
			配置換(入)	判事	村 田 龍 平	
		14民	配置換(出)			
	26. 8. 25	13民	転出	判事(部)	山 下 郁 夫	
転入			判事(部)	石 井 寛 明		
26. 9. 1	26. 9. 17	2民	定年退官	判事(部)	河 邊 義 典	
	26. 9. 18		転入	判事(部)	田 中 敦	
	26. 10. 8	13民	転出	判事	神 山 隆 一	
	26. 11. 19	8民	転出	判事	小 池 明 善	
26. 11. 7	26. 11. 28	8民	定年退官	判事(部)	小 松 一 雄	
	配置換(入)		判事(部)	山 田 知 司		
	26. 11. 29	3民	配置換(出)		判事(部)	
		転入	判事(部)	江 口 と し 子		
26. 11. 12	26. 12. 2	14民	転出	判事	龍 見 昇	
			配置換(入)	判事	井 上 一 成	
		13民	配置換(出)			
	26. 12. 17	3刑	転出	判事	岩 倉 広 修	
26. 11. 26	26. 12. 17	特別部	転出	判事	岩 倉 広 修	
			兼務	判事	柴 山 智	

## 大阪高等裁判所判事の職務代行について

(常任委員会諮問日)

自 平成26年 4月26日


至 平成26年12月19日

発令年月日	事項	職務代行庁 職務代行官職	現所属庁 現官職	期	氏名	職務代行期間	備考
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	

事件の配付替えについて

平成26年度の裁判官の配置、事務分配、開廷日割及び代理順序の定め第2条第15項に基づき、第11民事部に配付された下記の事件を第9民事部に配付替えする。

記

- 1 事件番号 平成26年(ム)第147号(付随事件平成26年(ウ)第281号, 同第325号)
- 2 事件名 仮処分命令申立却下決定に対する抗告棄却決定に対する準再審申立事件
- 3 当事者 準再審申立人   
相手方 医療法人紀陽会 ほか2名

(5月15日常任委員会諮問)

## 資料4

### 司法行政に関する情報の不開示に対する苦情申出への措置

大阪家庭裁判所が苦情の申出人[REDACTED]に対して平成26年9月16日にした、下記の司法行政文書の一部不開示の判断は相当である。

(理由)

下記の文書で開示しないこととした部分のうち、鑑定の名称部分は、個人に関する情報であって、個人識別情報に該当するため不開示とすべきものと認められる(行政機関情報公開法第5条第1号相当)。

記

請求書

(10月31日常任委員会諮問)

## 資料 5

平成 27 年度の裁判官の配置，事務分配，開廷日割及び代理順序を次のとおり定める。

平成 26 年 12 月 19 日

大阪高等裁判所

### 第 1 条（裁判官の配置）

全裁判官を分けて別紙のとおり部を構成する。

### 第 2 条（事務分配）

- 1 民事の事件は，別に定めるもののほか，第一審，民事控訴，行政控訴，再審及びその他の申請事件の種別ごとに，前年に引き続き第 1 民事部から第 14 民事部までの各部に順次これを配付する。

この場合において，民事控訴事件の配付割合は，裁判官が 4 人以上配置されている部については各 6，裁判官が 3 人配置されている部については各 5 とする。

配置する裁判官の数が月の 2 日以降に変更された場合は，その翌月 1 日からこの割合で分配する。

- 2 民事上告事件は，第 7 民事部にこれを配付し，同事件 1 件に対し民事控訴事件 1 件の割合で，同部への民事控訴事件の配付を減ずる。
- 3 民事の抗告事件（準再審を含み，第 17 項に掲げる抗告事件を除く。第 9 項及び第 4 条第 3 項において同じ。）は，家事抗告事件及び保護命令抗告事件については第 9 民事部及び第 10 民事部に順次配付し（ただし，その配付割合は，裁判官が 4 人以上配置されている部については 6，裁判官が 3 人配置されている部については 5 とする。配置する裁判官の数が月の 2 日以降に変更された場合は，その翌月 1 日からこの割合で分配する。），執行抗告事件，倒産抗告事件，民事保全抗告事件，商事非訟抗告事件（過料抗告事件を除き，民事非訟抗告事件を含む。），借地非訟抗告事件（罹災都市借地借家臨時処理抗告事件及び接收不動産

に関する借地借家臨時処理抗告事件を含む。)及び商事事件の担保提供命令抗告事件については第11民事部にそれぞれ配付し、次の換算割合に従って、当該部への事件の配付を減ずる。

- (1) 遺産分割抗告事件2件に対し民事控訴事件3件の割合
- (2) 保護命令抗告事件1件に対し民事控訴事件1件の割合
- (3) 労働仮処分抗告事件1件に対し民事控訴事件1件の割合
- (4) 子の返還抗告事件1件に対し民事控訴事件1件の割合
- (5) 婚姻費用分担抗告事件，養育費抗告事件，扶養料に関する抗告事件及び財産分与抗告事件2件に対し民事控訴事件1件の割合
- (6) (1)から(5)まで以外の第9民事部，第10民事部及び第11民事部に配付すべき抗告事件3件に対し民事控訴事件1件の割合
- (7) 原審記録1,000丁以上の民事保全抗告事件については(3)，(6)の換算割合の2倍の民事控訴事件に換算する。

その余の抗告事件については忌避関係抗告事件とこれを除く抗告事件とに区分して、前年に引き続き第1民事部から第14民事部までの各部に順次これを配付する。

4 高等裁判所を第一審とする家事審判事件は、基本となる家事抗告事件が係属する部に配付する。

5(1) 刑事の事件（心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律に定める抗告事件を含む。）は、別に定めるもののほか、控訴，上告，再審（再審請求事件を含む。），抗告，抗告受理の申立て及びその他の申請事件の種類ごとに、控訴事件については更に、これを裁判員裁判事件とそれ以外の事件に分け、前者については、記録丁数1,000丁未満，同1,000丁以上3,000丁未満，同3,000丁以上（以下「S特配事件」という。）に区分し、後者については、記録丁数500丁未満，同500丁以上1,000丁未満，同1,000丁以上3,000丁未満，同3,000丁以上5,000丁未満，同5,000丁以上10,000丁未満（以下

「特配事件」という。), 同10, 000丁以上(以下「超特配事件」という。)に区分し, それぞれの区分に応じて, 前年に引き続き第1刑事部から第6刑事部までの各部に順次これを配付する。ただし, S特配事件, 特配事件又は超特配事件として配付された事件が受理日から2箇月以内に取下げ又は被告人の死亡により終結した場合には, 当該事件については, 配付がなかったものとし, その直後に配付すべきS特配事件, 特配事件又は超特配事件を当該部に配付する。

(2) 抗告受理の申立てについて受理決定をしたときは, その決定をした部に抗告事件を配付し, 同一の少年について抗告と抗告受理の申立てがあったときは, 先に係属した部に後に係属した事件を配付する。これらの場合においては, 抗告受理の申立て1件として扱う。

6 新たに配付される事件について, 配付される部の裁判官に除斥原因があるときは, その事件を次順位の部に配付し, 後者がその直後に配付を受けるべき新件を前者に配付する。

事件が配付された後に除斥原因が発見され, 又は生じた場合には, その部の申出により, 高等裁判所長官(以下「長官」という。)において常任委員会に諮問して他の部に配付替えすることができる。配付替えをした場合には, 後者がその直後に配付を受けるべき新件を前者に配付する。

7 刑事訴訟法第428条の異議の申立事件は, 原決定をした部で更正決定をしないときは, その部以外の刑事部に前年に引き続き順次これを配付する。

8 民事の裁判官又は裁判所書記官の除斥及び忌避の申立事件は, 当該裁判官又は裁判所書記官の属する部以外の民事部に, 刑事の裁判官又は裁判所書記官の忌避及び回避申立事件は, 当該裁判官又は裁判所書記官の属する部以外の刑事部に, それぞれ前年に引き続き順次これを配付する。

9 最高裁判所から差戻しを受けた事件は, 民事部, 刑事部の区別に従って, 原裁判をした部以外の部に前年に引き続き順次これを配付する。ただし, 第2条第3項により第9民事部に専属的に配付した抗告事件については第10民事部に, 第

10 民事部に専属的に配付した抗告事件については第9民事部にそれぞれ配付し、第11民事部に専属的に配付した抗告事件については第9民事部及び第10民事部に順次配付し、本案に付随する民事の抗告事件については、本案事件の係属する部にこれを配付する。

- 10 第1項及び前項の規定にかかわらず、記録丁数3,000丁以上の民事控訴、行政控訴及び差戻事件（第17項に掲げる控訴事件を除く。）については、その種別を問わず、記録丁数10,000丁以上のもの、同3,000丁以上10,000丁未満のものに区分して、特別に第1民事部から第14民事部までの各部に順次これを配付する。ただし、記録丁数が10,000丁以上のものは、第9民事部、第10民事部及び第11民事部には配付しない。

事件が配付された後に記録が10,000丁以上のもの、同3,000丁以上10,000丁未満のものであることが判明した場合には、その部から各特別配付の次順位の部にこれを配付替えする。この場合には、後者がその直後に配付を受けるべき新件を前者に配付する。

- 11 最高裁判所から囑託を受けた和解勧試の事件は、原裁判をした部にこれを配付する。
- 12 相関連する事件は、関係各部が協議して一つの部から他の部にこれを移すことができる。事件を移した場合には、長官に通知するものとし、後者がその直後に配付を受けるべき新件を前者に配付する。
- 13 上訴申立てによる強制執行停止、民事保全申請事件、刑事補償、費用補償請求事件及びその他の本案に付随する申請事件は、本案の係属する部又は係属した部にこれを配付する。
- 14 特別部は、裁判所法第16条第4号の訴訟及び分限事件並びに次項により特に配付される事件を担当する。
- 15 裁判官会議において特別の事情があると認めるときは、前各項の規定にかかわらず、これと異なる取扱いをすることができる。
- 16 各部の前年度未済事件は、その部でこれを処理する。

17 第1項、第3項及び第10項の規定にかかわらず、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、回路配置利用権、商号権又は不正競争防止法に関する民事控訴事件、民事抗告事件及び民事再審事件(以下、控訴事件、抗告事件又は再審事件の区分に従い、「知的財産権控訴事件」、「知的財産権抗告事件」又は「知的財産権再審事件」という。)は、第8民事部にこれを配付し、次の区分に従い、同部への他の事件の配付を減ずる。

- (1) 記録丁数3,000丁未満の知的財産権控訴事件1件に対し同3,000丁未満の民事控訴事件3件の割合
- (2) 記録丁数10,000丁以上、同3,000丁以上10,000丁未満の知的財産権控訴事件1件に対し、それぞれ同10,000丁以上、同3,000丁以上10,000丁未満の民事控訴、行政控訴及び差戻事件1件の割合
- (3) 知的財産権抗告事件1件に対し記録丁数3,000丁未満の民事控訴事件1件の割合
- (4) 知的財産権再審事件1件に対し民事再審事件3件の割合

第8民事部を除くその余の民事部に事件が配付された後に、知的財産権控訴事件、知的財産権抗告事件又は知的財産権再審事件であることが判明した場合には、その部から第8民事部にこれを配付替えする。

知的財産権控訴事件又は知的財産権再審事件を配付替えする場合には、後者がその直後に配付を受けるべき新件を前者に配付する。

### 第3条 (開廷の日割)

各部の開廷日割は、次のとおりとする。ただし、各部において必要があるときは、他の日にも開廷することができる。

第1民事部	月、水、金曜日
第2民事部	月、火、木曜日
第3民事部	月、水、金曜日
第4民事部	月、火、木曜日
第5民事部	月、水、金曜日

第 6 民事部	月，火，木曜日
第 7 民事部	月，水，金曜日
第 8 民事部	月，火，木曜日
第 9 民事部	月，水，金曜日
第 10 民事部	月，火，木曜日
第 11 民事部	月，水，金曜日
第 12 民事部	月，火，木曜日
第 13 民事部	月，水，金曜日
第 14 民事部	月，火，木曜日
第 1 刑事部	月，火，木曜日
第 2 刑事部	月，水，金曜日
第 3 刑事部	月，火，木曜日
第 4 刑事部	月，水，金曜日
第 5 刑事部	月，火，木曜日
第 6 刑事部	月，水，金曜日
特 別 部	随時

#### 第 4 条 (裁判事務の代理順序)

- 1 裁判長に差し支えがあるときは，その部の裁判官が別紙に掲げる順序によりこれを代理する。
- 2 特別部以外の各部の陪席裁判官に差し支えがあるときは，あらかじめ長官が定める順序により，他の部の陪席裁判官がこれを代理する。ただし，これによることができないときは，長官の指名する裁判官がこれを代理する。
- 3 部の裁判官全員に差し支えがあるときは，次の例により他の部の裁判官がこれを代理する。ただし，第 2 条第 3 項により第 9 民事部，第 10 民事部及び第 11 民事部に専属的に配付する抗告事件の処理については，第 9 民事部及び第 10 民事部は相互に，第 11 民事部については，第 9 民事部及び第 10 民事部が順次代理し，代理部の裁判官全員に差し支えがあるときは，本文の例による。

差し支えのある部	代 理 す る 部	
	第 1 次	第 2 次
第 1 民事部	第 2 民事部	第 4 民事部
第 2 民事部	第 1 民事部	第 3 民事部
第 3 民事部	第 4 民事部	第 2 民事部
第 4 民事部	第 3 民事部	第 1 民事部
第 5 民事部	第 6 民事部	第 8 民事部
第 6 民事部	第 5 民事部	第 7 民事部
第 7 民事部	第 8 民事部	第 6 民事部
第 8 民事部	第 7 民事部	第 5 民事部
第 9 民事部	第 10 民事部	第 12 民事部
第 10 民事部	第 9 民事部	第 11 民事部
第 11 民事部	第 12 民事部	第 14 民事部
第 12 民事部	第 11 民事部	第 13 民事部
第 13 民事部	第 14 民事部	第 10 民事部
第 14 民事部	第 13 民事部	第 9 民事部
第 1 刑事部	第 2 刑事部	第 4 刑事部
第 2 刑事部	第 1 刑事部	第 3 刑事部
第 3 刑事部	第 4 刑事部	第 6 刑事部
第 4 刑事部	第 3 刑事部	第 5 刑事部
第 5 刑事部	第 6 刑事部	第 2 刑事部
第 6 刑事部	第 5 刑事部	第 1 刑事部

第 1 次及び第 2 次代理部に差し支えがあつて代理することができないときは、当日開廷の他の民事部又は刑事部で適宜代理する。

#### 第 5 条 (司法行政事務の代理順序)

- 1 長官に差し支えがあるときは、別表に掲げる裁判官がその順序によりこれを代理する。

2 部の事務を総括する裁判官に差し支えがあるときは、その部の裁判官が別紙に掲げる順序によりこれを代理する。

附 則（平成26年12月19日）

この定めは、平成27年1月1日から施行する。

(別紙)

第1条による部の構成及び第4条第1項、第5条第2項による代理順序

第1民事部

裁判長	判	事	志	田	博	文
	判	事	下	野	恭	裕
	判	事	井	田		宏
	判	事	土	井	文	美

第2民事部

裁判長	判	事	田	中		敦
	判	事	善	元	貞	彦
	判	事	太	田	敬	司
	判	事	竹	添	明	夫

第3民事部

裁判長	判	事	江	口	とし	子
	判	事	久	保	浩	史
	判	事	和	久	道	雄
	判	事	新	谷	祐	子

第4民事部

裁判長	判	事	田	川	直	之
	判	事	浅	井	隆	彦
	判	事	島	村	雅	之
	判	事	西	岡	繁	靖

第5民事部

裁判長	判	事	中	村		哲
	判	事	和	久	田	齐
	判	事	山	田	健	男

判 事 堀 部 亮 一

第 6 民事部

裁判長 判 事 水 上 敏  
判 事 内 山 梨 枝 子  
判 事 平 野 剛 史  
判 事 山 田 兼 司

第 7 民事部

裁判長 判 事 矢 延 正 平  
判 事 菊 池 徹  
判 事 村 田 龍 平  
判 事 島 岡 大 雄

第 8 民事部

裁判長 判 事 山 田 知 司  
判 事 本 多 久 美 子  
判 事 高 松 宏 之  
判 事 寺 本 佳 子

第 9 民事部

裁判長 判 事 金 子 順 一  
判 事 田 中 義 則  
判 事 上 田 卓 哉  
判 事 渡 辺 真 理

第 10 民事部

裁判長 判 事 角 隆 博  
判 事 横 山 光 雄  
判 事 坂 倉 充 信  
判 事 横 溝 邦 彦  
判 事 中 川 正 充

第 11 民事部

裁判長	判 事	林 圭 介
	判 事	杉 江 佳 治
	判 事	吉 川 慎 一
	判 事	久 末 裕 子

第 12 民事部

裁判長	判 事	森 宏 司
	判 事	一 谷 好 文
	判 事	河 田 充 規
	判 事	秋 本 昌 彦

第 13 民事部

裁判長	判 事	石 井 寛 明
	判 事	橋 本 都 月
	判 事	小 堀 悟
	判 事	棚 木 純 一

第 14 民事部

裁判長	判 事	森 義 之
	判 事	井 上 一 成
	判 事	金 地 香 枝

第 1 刑事部

裁判長	判 事	的 場 純 男
	判 事	細 井 正 弘
	判 事	橋 本 一
	判 事	山 口 敦 士
	判 事	沖 敦 子

第 2 刑事部

裁判長	判 事	横 田 信 之
-----	-----	---------

判 事	野 路 正 典
判 事	坂 田 正 史
判 事	向 井 亜紀子

### 第3 刑事部

裁判長 判 事	中 谷 雄二郎
判 事	柴 山 智
判 事	高 島 由美子

### 第4 刑事部

裁判長 判 事	米 山 正 明
判 事	中 川 綾 子
判 事	佐 藤 建
判 事	船 戸 宏 之

### 第5 刑事部

裁判長 判 事	並 木 正 男
判 事	大 崎 良 信
判 事	坂 本 好 司
判 事	太 田 寅 彦

### 第6 刑事部

裁判長 判 事	笹 野 明 義
判 事	飯 島 健太郎
判 事	田 中 幸 大
判 事	後 藤 有 己

### 特別部

裁判長 高等裁判所長官	大 谷 直 人
判 事	矢 延 正 平
判 事	的 場 純 男

判 事  
判 事  
判 事  
判 事  
判 事

菊 池 徹  
杉 江 佳 治  
柴 山 智  
北 川 清  
飯 島 健太郎

(別表)

第5条第1項による司法行政事務の代理順序

判 事	矢 延 正 平
判 事	的 場 純 男

# 資料6

大阪高等裁判所管内の地方・家庭・簡易裁判所裁判官の職務代行について

(常任委員会諮問日)

自 平成26年 4月26日

至 平成26年12月19日

発令年月日	事項	職務代行庁 職務代行官職	現所属庁 現官職	期	氏名	職務代行期間	備考
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED] [REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	

## 平成 26 年度各種委員会委員等の補充等について

(常任委員会諮問日)

自 平成 26 年 4 月 26 日

至 平成 26 年 12 月 19 日

委員会等	役職	実施年月日	部別	新		旧		備考
判例委員会	委員	26.6.4	民事	12	森 宏司	14	田中澄夫	任期26.12.31
		26.8.16	刑事	5	並木正男	5	上垣 猛	任期26.12.31
		26.8.18	民事	9	金子順一	5	坂本倫城	任期26.12.31
		26.9.18	民事	3	山田知司	2	河邊義典	任期26.12.31
		26.11.29	民事	11	林 圭介	8	小松一雄	任期26.12.31
	幹事	26.6.4	民事	14	村田龍平	12	一谷好文	任期26.12.31
		26.7.2	刑事	3	岩倉広修	3	五十嵐常之	任期26.12.31
		26.7.31	刑事	2	坂田正史	2	森岡孝介	任期26.12.31
		26.8.18	民事	5	堀部亮一	9	田中義則	任期26.12.31
			民事	14	龍見 昇	14	村田龍平	任期26.12.31
		26.9.18	民事	2	善元貞彦	3	久保田浩史	任期26.12.31
		26.10.8	民事	13	井上一成	13	神山隆一	任期26.12.31
		26.11.29	民事	8	本多久美子	11	杉江佳治	任期26.12.31
		26.12.2	民事	13	橋本都月	13	井上一成	任期26.12.31
民事	14		井上一成	14	龍見 昇	任期26.12.31		

委員会等	役職	実施年月日	部別	新		旧		備考
判例委員会	幹事	26.12.5	民事	3	久保田浩史	8	本多久美子	任期26.12.31
		26.12.17	刑事	3	柴山 智	3	岩倉広修	任期26.12.31
広報委員		26.8.1	民事	5	堀部亮一	5	天野智子	
大阪弁護士会 資格審査会	予備委員	26.11.29	民事	6	■■■■■	8	小松一雄	任期27.9.30
大阪弁護士会 綱紀委員会	委員	26.8.16	刑事	4	■■■■■	5	上垣 猛	任期27.9.30
	予備委員	26.8.16	刑事	2	横田信之	4	米山正明	任期26.9.30
	予備委員	26.10.1	刑事	2	■■■■■	2	横田信之	任期28.9.30

## 平成27年度各種委員会委員等の指名について

(平成27年1月1日現在)

委員会等	役職	部別	委員等名 氏名	当初選任 年月日	任期終了 年月日	任期, 根拠規定等
判例委員会	委員	民 6	水 上 敏	H26. 1. 16	} H27. 12. 31	委員, 幹事及び書記の任命は, 大阪高裁長官に委任(書記は官職指定) 委員及び幹事の任期は当該司法年度内(再任を妨げない。) ○判例委員会規程3~7条
		7	矢 延 正 平	H23. 12. 31		
		8	山 田 知 司	H26. 9. 18		
		9	金 子 順 一	H26. 8. 18		
		11	林 圭 介	H26. 11. 29		
		12	森 宏 司	H26. 6. 4		
	刑	1	的 場 純 男	H23. 12. 19	} H27. 12. 31	
		3	中 谷 雄 二 郎	H25. 12. 4		
		4	米 山 正 明	H26. 3. 9		
		5	並 木 正 男	H26. 8. 16		
	幹事	民 1	下 野 恭 裕	H26. 4. 1	} H27. 12. 31	
		2	善 元 貞 彦	H26. 9. 18		
		3	久保田 浩 史	H26. 12. 5		
		4	浅 井 隆 彦	H25. 4. 1		
		5	堀 部 亮 一	H26. 8. 18		
		10	横 山 光 雄	H25. 10. 4		
		13	橋 本 都 月	H26. 12. 2		
		14	井 上 一 成	H26. 12. 2		
刑 1		橋 本 一	H25. 10. 19	} H27. 12. 31		
2		坂 田 正 史	H26. 7. 31			
3		柴 山 智	H26. 12. 17			
4		中 川 綾 子	H26. 4. 1			
5	大 崎 良 信	H24. 10. 18				
6	飯 島 健 太 郎	H26. 4. 1				
選書等指導 裁 判 官	民事	和久田 道 雄	H26. 2. 26	} H27. 12. 31	大阪高裁長官が指名 任期は, 当該司法年度内 (再任を妨げない。)	
		吉 川 慎 一	H24. 6. 22			
刑事	坂 本 好 司	H24. 4. 1	} H27. 12. 31	○選書等指導裁判官に関する 規程3, 4条		
	後 藤 有 己	H24. 4. 1				

事件の配付替えについて

平成26年度の裁判官の配置、事務分配、開廷日割及び代理順序の定め第2条第6項後段に基づき、第2民事部に配付された下記の事件を第7民事部に配付替えする。

記

- 1 事件番号 平成25年(ネ)第 [ ] 号
- 2 事件名 地位確認等請求控訴事件
- 3 当事者 控訴人 [ ] ほか7名  
被控訴人 株式会社伊藤興業 ほか1名

(10月16日常任委員会諮問)